

「習い事の先生になろう」～平岸マイプロジェクト×平岸高台小ミニ児童会館～

2026.2.9



昨年度、高校生ビジネスプランコンテストで入賞した本校3年生・初沢さんが提案したビジネスプランの実践として、平岸高台小ミニ児童会館で小学生と高校生の交流イベントを実施しました。

前回(6月)には英語と将棋の2つの企画で実施しましたが、今回は「習い事の先生になろう」をテーマに、高校生が自分たちで企画内容を考え、準備から当日の運営まですべてを担う取組へと発展しました。参加チームを募集したところ、なんと1年生

から3年生までの16チーム・46名が応募し、当初予定していた1月22日に加え、2月4日、6日も追加して、計3日間にわたってさまざまな企画を実施しました。各チームは、児童に楽しんでもらえるよう、活動内容やタイムスケジュールを工夫し、教材や道具の準備を重ねて本番に臨みました。各日の企画内容は、次の表のとおりです。

実施日	企画内容(ブース)
1月22日	スライムづくり、塗り絵、工作、百人一首、将棋、おりがみ
2月4日	スーパーボールづくり、スライムづくり、牛乳パック万華鏡づくり、ダンス、オリジナルカルタづくり
2月6日	サイエンス教室、楽器づくり、架空の動物の絵を描こう シマエナガについて学ぶ、筋トレ

1月22日は、児童会館の児童たちの人形劇を高校生が鑑賞した後、6ブースを開設しました。活動の中では、児童が夢中になって取り組む姿が見られ、高校生もその様子を楽しそうに見守っていました。作業を通し

て、小学生の学校生活の話の聞いたり、高校生活について質問を受けたりと、自然な交流が生まれました。



2月4日は、5ブースを開設しました。前回の活動が好評だったこともあり、普段は参加しない児童も足を運び、会場はさらににぎやかになりました。ダンスのブースでは、高校生と児童と一緒に体を動かし、楽しそうな様子が見られました。



最終日の2月6日も多くの児童が参加してくれました。今回は5ブースを開設しました。児童は高校生の説明に熱心に耳を傾け、目を輝かせながら活動に取り組みました。筋トレのブースでは、みんなで声を合わせて数を数えながら身体を鍛えていました。



今回の取組に参加した高校生からは、「楽しくて1時間があっという間だった」「子どもとかかわる仕事に興味をもった」といった感想が寄せられました。



また、企画の中心となった初沢さんは、「前回よりも多くの種類の企画を用意でき、子どもたちが喜んでくれたことがうれしかったです。今回は、私が細かく指示をしなくても、各チームが自分たちで企画・準備・運営をしていました。その姿を見て、私自身も新しいことに挑戦する勇気をもらいました」と話していました。



生徒が主体となって考え、準備し、実行した活動が、児童の笑顔につながる3日間となりました。平岸マイプロジェクトでは、今後も生徒の挑戦を支え、地域とつながる体験の場を広げていきます。